

神戸大学 大学教育推進機構 大学教育研究
第 23 号 (2014 年度) 2015 年 3 月 31 日発行 : 69-87

私立大学同窓会海外支部の役割

原 裕美

私立大学同窓会海外支部の役割

原 裕美（国際協力研究科 博士課程後期課程）

1. はじめに

1-1. 問題設定

本稿の目的は、大学の国際化の流れの中で私立大学同窓会の海外支部がどのような役割を担っていて、卒業生と大学と海外支部の間にはどのような課題があるのかを明らかにすることによって、今後の卒業生・同窓会・大学が互恵関係を構築するための視点を提供することである。

2008年7月29日、文部科学省及び関係省庁より「留学生30万人計画の骨子」が発表された。その骨子は、「日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界との間のヒト、モノ、カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。」と述べている。2010年6月21日には、中央教育審議会の大学分科会に設けられた大学教育の検討に関する作業部会の大学グローバル化検討ワーキング・グループが「東アジア地域を見据えたグローバル人材育成の考え方～質の保証を伴った大学間交流推進の重要性～」を報告した。その後、大学のグローバル化を推進するための具体的な課題や方策について集中的に審議するため、大学のグローバル化に関するワーキング・グループが中央教育審議会の大学分科会のもとに設けられた。2014年11月14日には、同ワーキング・グループが「我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン」を報告した。

このように近年、大学の国際化を推進する機運が急速に高まっている。各大学の戦略には「国際化」が掲げられ、そうした戦略のもと各大学は学部・学科の改組、日本人学生の留学支援、留学生獲得など精力的な動きを見せている。その際に大学の国際化を支援する力となるのが、同窓会及び同窓会の海外支部だと筆者は考える。しかし、後述するように同窓会の先行研究においても海外支部の活動や役割には関心が向けられてこなかった。本稿では、この点に着目し、留学生受け入れ数が1,000名以上の私立大学で、複数の海外支部を持つ同窓会を中心に考察する。このような問題設定のもと、本稿では次の2つのリサーチクエスチョン（以下「RQ」）を設定する。

RQ1：大学にとって同窓会海外支部の役割とは何か。

RQ2：卒業生にとって同窓会海外支部の役割とは何か。

以下では、最初に本稿における研究対象と方法を整理し、日本の大学同窓会における先行研究にふれる。次に、私立大学同窓会を類型化した上で、総合大学の同窓会の特徴を確認し、各大学同窓会の海外支部における役割と課題について同窓会の年史、該当大学同窓

会が発刊している定期刊行物、ウェブサイトなどで公開されている資料から上記リサーチクエスチョンの検証を進める。なお、資料における不明な点については、該当大学同窓会の担当者にメールによる問合せを行った。そして最後に、私立大学同窓会の海外支部の役割と課題を改めてまとめてみたい。

1-2. 研究対象と方法

先述したように本稿では、私立大学の同窓会海外支部を研究対象とする。私立大学の同窓会を対象とする理由は次の3点である。第一は、国公立大学と比較した学生数の割合の高さである。文部科学統計要覧平成26年版による国公立私立大学における学生数の割合を図1に示した。学生数2,868,872名のうち、73.5%の2,107,929名は私立大学に属している。毎年多数の卒業生、社会のあらゆる分野のリーダー人材を輩出しながら、彼らをコミュニティとして組織し、更なる知識・経験・ネットワークの拡大をはかることや、社会へと還元する仕組みを構築することも大学の社会的責任の一つではないだろうか。卒業生同士、また同窓会と卒業生とのつながりを考察することにより、私立大学の新たな役割が見出せると筆者は考える。

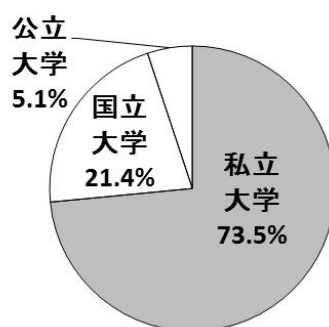


図1 国公立私立大学における学生数の割合 (%)

出典：文部科学省『文部科学統計要覧平成26年版』より筆者作成

第二は、国公立大学と比較した留学生数の割合の高さである。独立行政法人日本学生支援機構（以下「JASSO」）の留学生数データをもとにした図2によれば、留学生数107,004名のうち、68,449名（64.0%）が私立大学で学んでいる。一方、国立大学は35,164名（32.9%）、公立大学は3,391名（3.2%）（JASSO、2014、p.6）であり、それらの2倍弱の留学生を私立大学は受け入れている。その点においても、大学の国際化を推進する流れの中で、私立大学には多様な出身国の学生が存在し、当該国・地域との関係を考える上で重要な役割を果たしているといえる。

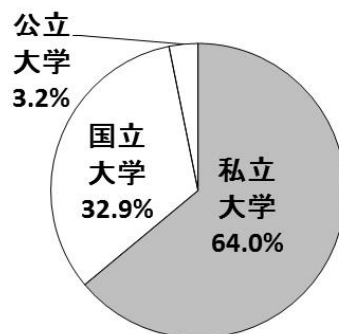


図2 国公立大学における留学生数の割合 (%)

出典：独立行政法人日本学生支援機構（2014）『平成 25 年度外国人留学生在籍状況調査結果』より筆者作成。

第三は、私立大学における同窓会の役割の大きさである。同窓会は従来、卒業生にとっては主に恩師や同窓生と旧交を暖める場であった。しかし、歴史的背景から読み解くと私立大学における同窓会は、大学昇格運動、寄付による大学の条件整備や施設建設などへの支援、学生への奨学金提供、卒業生が大学の理事・評議員となることを通じて常に大学の運営を支えてきた。例えば、天野郁夫（2000）は、私立大学の大学昇格運動や帝国大学との同格化運動を例に挙げ、「学歴社会ならぬ近代日本の高等教育の成立と発展にはたしてきた、同窓会の役割の大きさ」を論じている（p.6）。しかし、同時に彼は、同窓会は時代の変化に伴い、大学昇格運動の頃のような「闘う同窓会」や「親睦団体」としての「歴史的な使命をすでに終え」、「同窓会の強弱は、卒業生の母校に対する満足感や帰属感の大小にかかわっている」であり、大学における教育の成否を反映している」（p.11）と同窓会の役割の変化と重要性を論じている。国公立大学とは異なり、同窓会の支援と意見が大学の経営に少なからず影響を及ぼしてきたのが私立大学の特徴である。経営環境が厳しい現在において、そのような私立大学同窓会を対象とすることは、国公立大学も含めた全ての高等教育機関の参考となりえるのではないだろうか。

以上のような観点を踏まえて、本稿では JASSO による平成 25 年度外国人留学生在籍状況調査結果で留学生受け入れ数が 1,000 名以上の私立大学で、複数の海外支部を持つ 7 大学を対象として大学同窓会の海外支部における活動を分析する。その 7 大学とは、留学生が多い順に、早稲田大学、立命館アジア太平洋大学（以下「APU」）、立命館大学、慶應義塾大学、同志社大学、明治大学、拓殖大学（以下「対象 7 大学」）である。

これらの大学を対象とする理由の一つは、対象 7 大学は複数の学部を設置しており、一般的に総合大学と呼ばれ、留学生をも含んだ多様な卒業生を同窓会がどのように組織化しているかを観察できることである。日本の大学が国際化を推進する上で多様な出身国の卒業生とどのように互惠関係を構築していくかについて示唆を得ることが期待でき、多くの大学の参考となるだろう。

1-3. 同窓会に関わる先行研究の検討

分析に入る前に、まず大学同窓会に関する先行研究とその限界についてふれ、本稿の立ち位置を確認しておくこととする。大学同窓会に関する研究は数少ないものの存在し、そのアプローチは、次のような3つのタイプに整理できる。

第一に、同窓会の先行研究において最も多い形は、日本の高等教育研究者らによって米国の大学同窓会の活動や役割について検討するものである。江原（2009）は米国の大学における卒業生研究の歴史の変遷を、江原（2010）は米国の同窓会の設立過程を明らかにしている。清水（1987）、飯野（1997）、喜多村（1990）などは米国の大学同窓会がどのような活動を行っているのか、有名私立大学を事例にあげ、実態を詳細に解説した。山田（2008）は、米国の大学同窓会の組織化や資金獲得を果たす部門やその担当である専門職“Development Officer”（開発担当専門職）の活動や同窓会の活動についてカリフォルニア大学ロサンゼルス校などの具体的事例を紹介している。そのうえで山田（2008）は、日本の大学においても同窓会の組織化や資金獲得を強化するため、米国同様の専門性を持った人材の育成が必要だと述べている。

第二に、日本の大学同窓会に視点を当てた先行研究には、個別の私立大学同窓会における設立過程について事例として論じたものがある。このカテゴリーは大規模の私立大学において多くの蓄積が存在する。『大学時報』では1997年、2000年、IDE『現代の高等教育』では2000年、『カレッジマネジメント』では2007年において特集が組まれており、同窓会が大学の関心あるテーマとなっている。しかし、内容は各大学の事例に留まり、包括的な検討はなされていない。さらに日本私立大学連盟が1986年に大学職員を対象にした校友行政に関する特定研修を開催している。しかしそこでは、「海外在任者の動向把握とその組織化について」というテーマで各大学が同窓会活動の情報交換を行うに留まっている（p.88）。留学生同窓会の役割については唯一、中島（2011）が論じているものの内容は福井大学の事例に留まり、留学生同窓会の包括的な議論には至っていない。

第三は、国立大学同窓会を対象にした研究である。腰越・池田（2006）は、東京学芸大学卒業生にアンケートを行い、卒業生が同窓会に期待していることとして、「卒業生のネットワーク作りの強化」であることを明らかにした。このネットワークの仕組みを、同窓会を通じて「大学側が行っていくシステムの構築が求められる」と大学側の積極的な関与を説いている（p.25）。さらに腰越・池田（2006）は、同窓会の意義は、生涯学習の場というだけではなく、「壊れかけている人間社会の人と人をつなぐ数少ない絆として、故郷を喪失している人々の存在の証として、生きがいを育む創造の場として、新しい時代の大学同窓会には多くの期待が寄せられている。」とまとめている（p.26）。大川（2011）は、「卒業生との相互利益関係の構築」という視点を持ち、「卒業生を持続的にサポートすること」が大学に求められていくとまとめている。しかし、同窓会の海外支部の重要性も説いているものの、データの把握や調査は行っていないとしている（p.100）。腰越・池田（2006）と大川（2011）が共に強く主張しているのは、大学側が卒業生のネットワーク作りに積極的に関与するということである。高田（2011）は、国立大学の同窓会規約を中心に分析を行い、国立大学の全学同窓会の多くは法人化以後に設立されたことを明らかにした。このように大学の卒業生サービスや国立大学における同窓会の現状は、大川（2011）、腰越・池田（2006）、高田（2011）の先行研究によって解明されているものの、日本の私立大学

と同窓会の関係に焦点を当てた研究は、各大学の事例に留まり数少ない。

上記をまとめた上で、今日における同窓会に関わる先行研究の課題は、次の 3 点だと筆者は考える。第一に先行研究においては、私立大学の同窓会の事例報告に留まり、包括的な研究は行われていない。そこでは大学同窓会の会員獲得と保持の難しさが漠然と指摘されるだけであり、同窓会が大学や卒業生に対してどのような役割を果たしているのかは十分に論じられていない。第二に、卒業生に焦点を当てた研究は、同窓会の存在にふれないまま、卒業生と大学の関係について論じている。第三は、これらの先行研究の射程が同窓会本体の運営に留まっており、高等教育の動向や卒業生・同窓会・大学の三者の関係を含めて検討されていないことである。

1-4. 私立大学同窓会の類型化

次に海外支部の検討に先立ち、私立大学同窓会の類型化を試み、その中で本稿が研究対象とする総合大学の同窓会にどのような特徴があるのかを整理しておこう。私立大学同窓会の類型化については以下のような仮説を立て、これを検証する。

仮説：私立大学は、建学の精神に基づいた特色ある教育研究活動を行っており、女子大学、医科大学、歯科大学、工業大学などの特定の領域の単科大学、文科系、理科系を含む複数の学部で構成されている総合大学など各大学の教育内容や特性に伴って同窓会の活動は異なる。

1-5. 類型化の方法

類型化の方法は、以下のとおりである。

- (1) 『平成 26 年版文部科学大臣所轄学校法人一覧』に掲載されている私立大学のうち、同窓会活動の内容が確認できた 105 大学同窓会を分析対象とした。総合大学については、本稿が調査対象としている対象 7 大学とする。分析対象数を大学の特性別に分類したものが表 1 である。今回は、大学院大学・短期大学は対象に含まない。商科大学の同窓会については、資料収集に努めたものの、活動内容を確認する資料が見つからなかったため、分析対象に含むことができなかった。
- (2) 該当大学の同窓会活動を収集し、大学の特性ごとで国内における同窓会活動を整理し、内容が類似している活動については共通点として取りまとめた。

表 1 大学の特性別分析対象大学数

大学の特性	分析対象大学数
総合大学	7
女子大学	34
芸術大学	8
美術大学	5
音楽大学	10
医科大学	16

歯科大学	6
薬科大学	12
工科大学	8
合計	105

出所：筆者作成。

1-6. 分析結果

同窓会活動を分析した結果、表2のように大学の特性で「ビジネス型」「卒後教育型」「ライフサポート型」の3つに分類することができた。3類型に概ね共通する国内の同窓会活動内容は、「卒業生同士の親睦」「奨学金事業」「支部への援助金」「会報の発刊」「ホームカミングデーの開催」「転職相談」「大学への寄付」であることが確認できた。

表2 私立大学同窓会の類型化

大学の特性	活動内容	国内における同窓会活動の共通点	活動の類型	海外支部の有無
総合大学	・異業種交流会 ・職域別同窓会	・卒業生同士の親睦 (年次別、地域別同窓会) ・奨学金事業 ・支部への援助金 ・会報の発刊 ・ホームカミングデーの開催	ビジネス型	○
芸術大学 美術大学 音楽大学	・展覧会・個展			×
医科大学 歯科大学 薬科大学 工科大学	・卒後教育	・転職相談 ・大学への寄付	卒後教育型	×
女子大学	・料理教室、着物着付けなど趣味や家庭を中心にした活動 ・結婚相談 ・ボランティア活動			ライフサポート型

出所：筆者作成。

3つの類型の特徴は以下のとおりである。

- ①「ビジネス型」：総合大学は、活動内容の目的が仕事のための人脈作りや新たな仕事を得るために活用される「ビジネス型」と分類した。
芸術大学・美術大学・音楽大学も活動の特徴として展覧会や個展を開催しており、主にビジネスの場・自己啓発の場として活用されている。
- ②「卒後教育型」：医科大学・歯科大学・薬科大学・工科大学などの単科大学は、卒業生の職業に関連する継続的な専門知識の提供を主として行い、同窓会では「卒後教育」と紹介されている。同窓会の実施する卒後教育には都道府県の医師会、歯科医師会、薬剤師会などが協力するケースも見受けられた。「ビジネス型」との違いは、その専門性である。総合大学や芸術大学などの「ビジネス型」は一定の職域もしくは不特定多数の人脈を広げる活動が主であり、教育活動とは言い難いため、「卒後教育型」と区別した。

- ③「ライフサポート型」：女子大学はビジネスよりも趣味や家庭のための自己啓発的な活動に主眼を置いている。趣味、結婚相談、ボランティア活動など個人の人生を豊かにするための機会が提供されている。

本稿が研究対象とする総合大学の同窓会の特徴は、次の2点にまとめることができる。

第一は、同窓生との親睦を深めるための活動と同時に、職域別同窓会や異業種交流会を行い、様々な分野で活躍する卒業生同士のビジネス交流を積極的に行っている「ビジネス型」同窓会を展開していることに特徴がある。同窓会のネットワークが卒業生自身のビジネスに活かすことにより卒業生の社会的地位の向上につながり、同窓会・大学の良き支援者となる循環を生み出すことを目的としていると推察される。

第二は、複数の海外支部を持っている大学が単科大学に比べて多いことである。活動内容の調査と同時に本稿の研究目的である同窓会の海外支部の存在について確認した。芸術大学や医科大学などの単科大学においては、複数の海外支部をもつ同窓会は確認できなかった。一方、総合大学や女子大学は複数の海外支部を持つ同窓会を確認することができた。

2. 私立大学同窓会における海外支部の現状

2-1. 海外支部設立時の状況

それでは、私立大学同窓会の海外支部はいつ頃から、どのように設立されたのだろうか。古くから海外支部が設立されている早稲田大学校友会を参考として観察したい。早稲田大学校友会は、1885年に発足した（岡本、2013、p.72）。当時の活動としては、1898年10月2日には、台北市にて「台湾校友会。早大講師でもあった石塚英蔵参事官長をはじめ、在台北校友13名参加。今後時々小集を開くこと、事務所を大稲の芳賀恒輔（訴訟代理人）法律事務所とする。船を淡水河に出して観月」（岡本、2013、p.78）を行っていたことが確認されている。当時の総長や教授が当該国を訪れた際に歓迎を兼ねて校友会を開催している。また、1901年には歓送迎会や早大基金募集の件について協議を行い、母校の発展に寄与することも同窓会の役割として担っていた。明治時代の早稲田大学の海外校友ネットワークは、「植民地と本国を結ぶ校友ネットワークが形成され、その際には、『朝鮮公論』・『朝鮮新聞』・『満洲日日新聞』・『大連新聞』などといった植民地のメディア関係者が媒介となっていることが多く、「メディア関係に活動の場を見出している点の一つの特色」として指摘されている（岡本、2013、p.74）。海外支部の設立時の主な目的は、基本的に母校の卒業生同士が酒を酌み交わしたり、学歌合唱を行うなど、国内の同窓会と同様に「親睦」であるが、早稲田大学校友会の海外支部は、この時代から当該国におけるビジネスネットワークとしての役割も果たしていたことがうかがえる。

早稲田大学校友会のように戦前から卒業生有志による集まりは展開されているものの、いまだに大学・同窓会にその活動が知られていない集まりも多数存在すると推測される。しかし、近年、それぞれに行っている同窓会を取りまとめ、全学同窓会として運営する体制に変わったことや大学の国際化に伴い、海外支部の重要性に気付き始めた大学・同窓会が、海外における個々の同窓会を「支部」として公式に位置づけはじめた。その傾向は明治大学からうかがい知ることができる。同大学校友会では、1901年に台湾支部、1948年に大韓民国支部が設立されている。その後も他の地域による同窓会は設立されていたと思

われるが公式な設立年は、上海紫紺会 2001 年、タイ王国紫紺会 2008 年、マレーシア紫紺会 2009 年、北京紫紺会・紫紺の集いジャカルタ会 2012 年、マニラ紫紺会・インド紫紺会 2014 年としており、2000 年以降、急速に海外支部に大学の校旗を渡し、公式な会として認めている。その背景には、同窓会や大学側が同窓会開催のための資金援助制度を整備し、支部が公式な会としてその制度を利用したいことや、大学・同窓会側が更なる海外ネットワークを強化するため、公式な会として認めはじめたということが推察される。

2-2. 海外支部の現状

このような経過をたどって設立された海外支部であるが、帰国留学生のネットワーク作りに関して大学がどのように考えているかを図 3 にまとめた。横田他（2006）の調査によれば、57%の私立大学が海外同窓会の活用が「大変重要」「少し重要」と考えているにもかかわらず、実際の実施率は「14.8%」（横田他、2006、p.84）となっている。このことから私立大学が海外における同窓会の実施に苦慮していることが垣間見える。

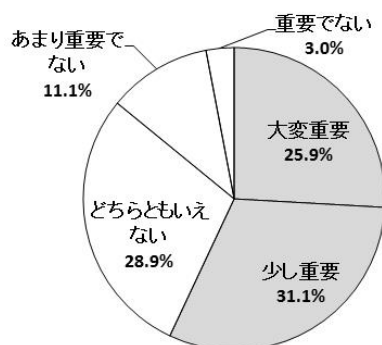


図3 「海外同窓会の活用」についてどう考えるか

出典：横田雅弘、太田浩、坪井健、白土悟、工藤和宏（2006）『岐路に立つ日本の大学：全国四年制大学の国際化と留学交流に関する調査報告』、平成 15・17 年度科学研究費補助金基盤研究（B）「日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向：来るべき日本の留学交流戦略の構築」研究成果報告書、課題番号：15330177.p.84 より筆者作成。

そのような状況の中、対象 7 大学の海外支部の設置状況をまとめると、表 3 のようになる。なお、設立年を各大学担当事務局に問い合わせたものの、「有志の集まりのため、明確な設立年は不明」との回答であった。対象 7 大学における海外支部設置国・地域は、54ヶ国・地域にのぼる。対象 7 大学の海外支部が概ね共通して設置されているのは、中国、アメリカ合衆国、インドネシア、ベトナム、イギリス、カナダ、オーストラリア、韓国である。同地域においては他大学の交流も盛んである。例えば上海では、同志社大学、立命館大学、京都大学による 3 大学合同の「今出川会」という交流会を開催し、2014 年 7 月 19 日の今出川会には 70 名以上が参加している。ロサンゼルス、ニューヨーク、シンガポールでは、「早慶戦」と称して早稲田大学、慶應義塾大学が合同でボーリング大会やゴルフコンペを開催している。

表3 対象7大学における海外支部設置状況

	国名	都市名	早稲田大学	APU	立命館大学	慶應義塾	同志社大学	明治大学	拓殖大学
			支部名	支部名	支部名	支部名	支部名	支部名	支部名
1	中華人民共和国	上海市	上海稲門会	上海チャプター	立命館大学上海校友会	上海三田会	上海クローバー会	上海紫紺会	上海支部
		北京市	北京稲門会	北京チャプター	立命館大学北京校友会	北京三田会	北京クローバー会	北京紫紺会	
		大連市	大連稲門会			大連三田会	大連同志社クローバー会		
		青島市					青島クローバー会		
		広州市			立命館大学広州校友会	広州三田会			
		天津市				天津三田会			
		香港特別行政区	香港稲門会		立命館大学香港校友会	香港三田会	香港クローバー会		香港・マカオ支部
		華南	華南稲門会						
	台北市	台北稲門会	台湾チャプター	立命館大学台湾校友会	台湾三田会		台湾支部	台湾連合会 台湾北区支部 台湾中区支部 台湾南区支部	
2	大韓民国	ソウル	ソウル稲門会	韓国チャプター	在韓立命館大学同門会	ソウル三田会 韓国三田会	同志社総同窓会	大韓民国支部	大韓民国支部
3	インドネシア共和国	ジャカルタ	ジャカルタ稲門会 インドネシア稲門会	インドネシアチャプター	立命館大学インドネシア校友会	ジャカルタ三田会	インドネシア・クローバー会	紫紺の集い・ジャカルタ会	インドネシア支部
4	マレーシア	クアラルンプール	クアラルンプール稲門会			クアラルンプール三田会		マレーシア紫紺会	
5	シンガポール共和国	シンガポール	シンガポール稲門会	シンガポールチャプター	立命館大学シンガポール校友会	シンガポール三田会	シンガポール・クローバー会		
6	タイ王国	バンコク	バンコク稲門会			バンコク三田会		タイ王国紫紺会	
7	フィリピン共和国	マニラ	マニラ稲門会	フィリピンチャプター		マニラ三田会		マニラ紫紺会	
8	ベトナム社会主義共和国	ハノイ	ハノイ稲門会	ベトナム(ハノイ)チャプター	立命館大学ハノイ校友会	ハノイ三田会	同志社ベトナム今出川倶楽部		ベトナム支部
		サイゴン	サイゴン稲門会	ベトナム(ホーチミン)チャプター	立命館大学サイゴン校友会	サイゴン三田会			
9	モンゴル国	ウランバートル	ウランバートル稲門会	モンゴルチャプター	立命館大学モンゴル校友会				
10	インド共和国	インド	インド稲門会	インドチャプター	立命館大学インド校友会	インド三田会 チェンナイ三田会		インド紫紺会	
11	タイ王国			タイチャプター	立命館大学タイ王国校友会		泰国同志社クローバー会		タイ王国支部
12	マレーシア			マレーシアチャプター	立命館大学マレーシア校友会		マレーシア新島会		マレーシア支部
13	ミャンマー連邦共和国			ミャンマーチャプター	立命館大学ミャンマー校友会	ヤンゴン三田会			
14	フィリピン共和国	フィリピン					マニラ・クローバー会		フィリピン支部
15	バングラデシュ人民共和国					ダッカ三田会			
16	スリランカ民主社会主義共和国			スリランカチャプター					
17	ロシア連邦	モスクワ	モスクワ稲門会			モスクワ三田会			

	国名	都市名	早稲田大学 支部名	APU 支部名	立命館大学 支部名	慶應義塾 支部名	同志社大学 支部名	明治大学 支部名	拓殖大学 支部名
18	トルコ共和国					トルコ三田会			
19	アラブ首長国連邦	アブダビ	アブダビ稲門会			アブダビ三田会			
		ドバイ				ドバイ三田会			
20	エジプト・アラブ共和国	エジプト	エジプト稲門会			エジプト三田会			
21	サウジアラビア王国					リヤド三田会			
22	イラン・イスラム共和国	テヘラン	テヘラン稲門会						
23	ヨーロッパ			ヨーロッパチャプター					
24	オーストリア共和国	ウィーン	ウィーン稲門会			ウィーン三田会			
25	ドイツ連邦共和国	デュッセルドルフ	デュッセルドルフ稲門会		立命館大学ドイツ校友会	デュッセルドルフ三田会		ドイツ紫紺会	
		フランクフルト	フランクフルト稲門会			フランクフルト三田会			
		ベルリン	ベルリン稲門会						
26	フランス	パリ	パリ稲門会			フランス三田会			フランス支部
27	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国	イギリス	英国稲門会		立命館大学英国校友会	英国三田会	英国クローバー・クラブ		
		パース	パース稲門会						
28	スウェーデン王国	ストックホルム	ストックホルム稲門会						
29	スペイン王国	スペイン	スペイン稲門会			スペイン三田会			
30	スイス連邦	ジュネーブ	ジュネーブ稲門会			ジュネーブ三田会			
		チューリッヒ				チューリッヒ三田会			
31	ベルギー王国	ベルギー	ベルギー稲門会			ベルギー三田会			
32	オランダ王国	オランダ	オランダ稲門会			オランダ三田会			
33	イタリア	ミラノ				ミラノ三田会			
34	カナダ	バンクーバー	バンクーバー稲門会		立命館大学バンクーバー校友会	バンクーバー三田会	同志社バンクーバー会	カナダ明治大学校友会	
		トロント	トロント稲門会			トロント三田会	同志社トロント会		トロント支部
35	アメリカ合衆国	イリノイ州	シカゴ稲門会		立命館大学シカゴ校友会	シカゴ三田会			
		ニューヨーク州	ニューヨーク稲門会		立命館ニューヨーク校友会	ニューヨーク三田会	米国ニューヨーク同志社会	ニューヨーク紫紺会	ニューヨーク支部
		カリフォルニア州	ロサンゼルス稲門会		立命館大学ロスアンゼルス校友会	ロサンゼルス三田会	アメリカ・ロサンゼルス支部		
			サンフランシスコ稲門会		立命館大学北カリフォルニア校友会	サンディエゴ三田会			
		ワシントンD.C.	ワシントン首都圏稲門会			サンフランシスコ三田会			
		テキサス州			立命館テキサス会	ダラス三田会	ヒューストン三田会		

	国名	都市名	早稲田大学	APU	立命館大学	慶應義塾	同志社大学	明治大学	拓殖大学
			支部名	支部名	支部名	支部名	支部名	支部名	支部名
35	アメリカ合衆国	フロリダ州				フロリダ三田会			
		マサチューセッツ州	ボストン稲門会			ボストン三田会			
		ワシントン州	シアトル稲門会			シアトル三田会			
		ミシガン州	ミシガン稲門会			デトロイト三田会			
		ジョージア州	ジョージア稲門会			ジョージア三田会			
		オレゴン州	オレゴン稲門会						
		ハワイ	ハワイ稲門会			ハワイ三田会			
	グアム				グアム三田会				
36	ブラジル連邦共和国	ブラジル	ブラジル稲門会			サンパウロ三田会 リオデジャネイロ三田会	サンパウロ支部		ブラジル連合会：サンパウロ支部・アマゾン支部・リオデジャネイロ支部・ミナス・ジェライス支部・ノルデステ支部・スール・ブラジル支部
37	ペルー共和国	リマ	リマ稲門会			ペルー三田会			
38	メキシコ合衆国	メキシコ	メキシコ稲門会			メキシコ三田会			
39	チリ共和国	チリ	チリ稲門会			チリ三田会			
40	オーストラリア連邦	シドニー	シドニー稲門会		立命館大学シドニー校友会	シドニー三田会	クローバークラブシドニー支部	シドニー明治会	オーストラリア支部
		メルボルン	メルボルン稲門会			メルボルン三田会			
		ブリスベン	ブリスベン稲門会			ブリスベン三田会			
41	ペルー共和国								ペルー支部
42	パナマ共和国								パナマ支部
43	コロンビア共和国					コロンビア三田会			コロンビア支部
44	エクアドル共和国								エクアドル支部
45	ラテンアメリカ								ラテンアメリカ西語圏連合会
46	ボリビア多民族国								ボリビア支部
47	チリ共和国								チリ支部
48	アルゼンチン支部					アルゼンチン三田会			アルゼンチン支部
49	ベネズエラ共和国支部					ベネズエラ三田会			ベネズエラ共和国支部
50	サモア独立国			サモアチャプター					
51	トンガ王国			トンガチャプター					
52	アフリカ			アフリカチャプター					
53	南アフリカ共和国					ヨハネスブルグ三田会			
54	カタール国					カタール三田会			

出所：筆者作成。

2-3. 海外支部の活動と役割

海外支部の活動を各大学同窓会の定期刊行物やホームページから分析すると、表 4 のように分類することができる。国内の同窓会では、「卒業生同士の親睦」「奨学金事業」「支部への援助金」「会報の発刊」「ホームカミングデーの開催」「転職相談」「大学への寄付」といった活動が共通して行われている。海外支部と国内の同窓会との役割の違いは、「海外生活への包括的支援」「学生への直接的な支援」「大学の国際化に対する支援」が海外支部にみられることである。特に学生への支援として、国内の同窓会は奨学金という形で間接的な支援を行っているが、海外支部に関しては、奨学金よりはレクチャーを行ったり、現地生活の支援を直接行うことが多い。また、海外支部の活動の特徴としては、国内の同窓会よりも開放的である。一般的に日本の大学同窓会への参加は閉鎖的で卒業生のみに限られているが、海外支部への参加は、家族の同伴が可能であったり、前述したように他大学との交流が盛んに行われている。家族を含めた海外生活への包括的支援やビジネスネットワークの拡大が、卒業生の当該国における社会的地位を確立し、その気持ちが学生や大学への支援へと循環していると推察できる。

表 4 海外支部の活動と役割

役割	活動内容
海外生活への包括的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学時や海外駐在時の家族を含めた生活のサポート ・ 現地公用語の学習会や講演会 ・ 家族同伴でのイベント参加 ・ 大学間の海外支部の交流 ・ 現地の大学同窓会との合同ボランティア活動の展開
ビジネスネットワーク拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスネットワーク・若手の人脈作り、情報交換 ・ 異業種交流による自分自身の研磨の場 ・ 駐在だけでなく、現地で仕事をする日本人の支え
学生の教育・大学の国際化に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現役学生の語学留学の際のサポート、交換留学生その土地の現状や駐在員生活についての卒業生による説明 ・ 大学の留学生フェアにおける現地ならではの大学の戦略へのアドバイス ・ 大学の国際インターンシップ支援と交流会 ・ 当該国訪問の学生と交流 ・ 教員の現地調査、現地の情報収集などに貢献

出所：筆者作成。

2-4. 海外支部に属する卒業生の利益とは何か

海外支部に属することによって卒業生個人がどのような利益を享受できるかをまとめると表 5 のようになる。表 5 は、対象 7 大学の同窓会が卒業生に提供しているサービスであるが、海外現地で利用できるものに○を付した。海外支部に属する卒業生が海外で利用可能なサービスは、クレジットカード発行、会報購読、オンラインでの情報提供・名簿利用のみである。多くの大学が行っているホームカミングデーやクラス・年次単位での同窓会は、日本で開催されることがほとんどであるため、日本に出向かない限りは参加できない。このように大学が国際化を目指す過程において、海外支部からの支援は重要だと考えられているにも関わらず、海外在住の卒業生が会費を払って享受できる公式なサービスは充実

しているとは言い難い。むしろ、現地での生活支援やビジネスネットワークの拡大など、同窓会のネットワークの中で得られる人生のサポート的な面が大きい。卒業生が同窓会に属することのメリットを感じられるよう、同窓会は大学と共に海外支部に属する卒業生が受けることのできるサービスを拡充していくことが、海外ネットワークの拡充にもつながるだろう。

表5 同窓会が提供している卒業生サービス

	大学・同窓会が提供する卒業生サービス	日本国外で対象サービスを享受できるか。
早稲田大学	早稲田カード(クレジットカード)発行・・・【特典】早稲田大学図書館の入館証、講座受講料・入会金の割引、早稲田スポーツへのご招待(抽選)、全国各地の校友の協力による「早稲田カード協力店」の優待、早稲田大学校友会WELBOX特別補助、Amazon.co.jp(R)で書籍購入割引クーポンの発行、結婚式祝電サービス(申請制)	○
	オンラインコミュニティの利用に加え、会員名簿管理、会費管理、印刷用宛名ラベル作成、会員への一斉連絡ツール、コミュニティ機能(含メール링リスト)など、同窓会運営に便利な機能を盛り込んだ「QuonNet同窓会機能」	○
	物品の貸与・頒布(例:校友会横断幕の貸出)	○
	Waseda Alumni's Sports, Exercise, Daily Activity, Sedentariness and Health Study: 早稲田大学校友が長生き(がんや心臓病で亡くならない、寝たきりや認知症にならない等)の秘訣を探るための研究プロジェクトへの参加。	○
	会報購読	○
	早稲田大学校友会が主催する卒業5年目の集い	×
	校友サロン・会議室貸出	×
	図書館(資料の館内閲覧・複写および視聴覚資料の館内利用)	×
	セミナーハウス利用	×
	大隈会館会議室・完之荘(かんしろう・大隈庭園内)利用時の室料無料	×
稲門祭・ホームカミングデー・校友会Welcome Party・校友会Welcome Party・早稲田大学校友会が主催する卒業5年目の集い	×	
APU	ホームページと校友会専用コンテンツAPUに関わる各種ニュースをはじめ、各チャプターのイベント情報や校友会からのお知らせなど、様々な情報をホームページでお届けした、	○
	校友会専用データベース: 校友検索機能により、世界中の校友とコンタクトを取ることができる。	×
	新校友歓迎パーティー春・秋の卒業式当日に卒業を祝うパーティー	×
	就職・進学・留学・学生生活などをテーマとした卒業生との懇談企画「STEP」	×
	APU校友も立命館大学校友会が開催する新校友歓迎会や、東京、東海、関西で行われている若手校友連携組織＝リコネクトに参加する。	△ (場所による)
世界に広がる校友がセミナーや懇親会など、特色ある独自イベントを地域単位で実施する。	△ (場所による)	
立命館大学	会報購読	○
	図書館利用(資料の閲覧・複写・館外貸出)	×
	立命館東京オフィス	×
	大阪オフィス	×
	立命館大学の各キャンパスに「校友サロン」を設置	×
	立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度(例: 法曹(司法試験)、公認会計士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座を対象)	×
慶應義塾大学	慶應カード	○
	慶應オンライン	○
	ラウンジ施設・個室3室利用	×
	塾員招待会	×
	慶應連合三田会大会	×
同志社大学	「週刊ダイヤモンド」「ハーバード・ビジネス・レビュー」の割引価格購読	○
	パーティー会場・会議室貸出	×
	同志社校友会大懇親会(GRAND REUNION)	×
	京都センチュリーホテルの特別料金利用	×
	同志社大学ホームカミングデー	×
	チャペル・会議室・レストラン等施設貸出	×
明治大学	校友のための交流サイト「紫紺NET」	○
	明大生徒のOB・OG交流会	×
	OB・OG会での会議室の貸出	×
拓殖大学	会合開催案内状発送代行	×
	再就職支援	×

出典:各大学・校友会ウェブサイトより確認(平成26年12月15日)。大学の順番は留学生数の多い順である。筆者作成。

2-5. 大学における同窓会への将来的期待

このような状況のもと、大学が国際化を推進するにあたり、同窓会、特に海外支部へ期待する役割は範囲を広げている。文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業の採択調書（タイプBグローバル化牽引型）から今後の国際化を推進する大学の同窓会への期待をまとめたものが表6である。大学と同窓会の関係により異なるが、従来、大学は同窓会に、卒業生への就職・転職の斡旋や科目等履修生などの学費や入学検定料の減免を提供してきた。同窓会から大学へは理事・評議員の選出を行い、大学運営を支援し、加えて団体としての寄付を提供してきた。しかし、表6に見られるように今後同窓会は大学、特に学生の教育にとってより大きな役割を担うことが期待されている。具体的に、国際化に伴う同窓会の新しい役割として4つの分野が挙げられている。①入試分野における学生募集の入試広報員・留学前入試アドバイザー、②教育分野における卒業生の授業参画、留学・海外研修時の世話人、自校教育の講師、③就職分野では、従来の就職・転職の相談斡旋に加え、キャリアアドバイザーやインターンシップの受け入れ先となること、④大学運営の分野では、卒業生が持つ重要な資料をアーカイヴとして寄贈してもらうことなどである。なお、スーパーグローバル大学創成支援事業の採択調書の記述には見られなかったが、海外支部が拡大すれば「研究分野」での同窓会の役割も追加されると推測する。例えば、教員の海外調査研究への仲介や協力などがその一つとして考えられる。

表6 大学における同窓会への将来的期待

従来の活動	分野	今後の期待
・特になし	入試	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集の入試広報員 ・留学前入試アドバイザー
・特になし	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生大学教員による講義 ・卒業生が授業に参画 ・学生のロールモデルとしてのレクチャー ・卒業生ネットワークの拡充 ・留学・海外研修の際の世話人 ・生涯教育の受講者 ・自校教育の講師
・就・転職斡旋	就職	<ul style="list-style-type: none"> ・就職斡旋 ・キャリアアドバイザー ・インターンシップ
<ul style="list-style-type: none"> ・理事・評議員としての大学運営参加 ・寄付 	大学運営	<ul style="list-style-type: none"> ・理事・評議員としての大学運営参加 ・寄付 ・大学の歴史のアーカイヴ

出典：スーパーグローバル大学創成支援事業採択調書（タイプB大学）より筆者作成。

http://www.jsps.go.jp/j-sgu/h26_kekka_saitaku.html（閲覧日：平成26年12月14日）

3. 考察

本稿では、2つのリサーチクエスチョンを設定し、私立大学同窓会の海外支部の役割と課題を整理した。それぞれの考察の結果をまとめておこう。

・RQ1：大学にとって同窓会海外支部の役割とは何か。

現在でも海外支部は、留学・海外研修時の支援や現地生活のレクチャーなど「学生への教育的支援」を行っているが、今後は学生が海外に就職する際のキャリアアドバイザーや就職斡旋、授業にも様々な形で関与するなど直接教育に携わる機会がますます増えていく傾向が明らかになった。また、卒業生の居住国における日本への留学前の入試アドバイザーや入試広報員としての活躍が期待されている。この役割を含めた「大学の国際化」を主に担うのは海外支部であり、同窓会と大学は海外支部の新設・支援に力を入れるようになると推察できる。なぜなら、経営状況の厳しい私立大学にとって学生募集は死活問題である。同窓会が学生募集に力を発揮するとなれば、先行研究においても腰越・池田（2006）、大川（2011）が主張したように、大学が同窓会運営に積極的な関与せざるをえないであろう。この点については、今後もスーパーグローバル大学創成支援事業に採択された大学と同窓会の動向を追って確認し、モデルケースとしていく必要がある。

・RQ2：卒業生にとって同窓会海外支部の役割とは何か。

卒業生にとって私立大学同窓会の海外支部の最も重要な役割は、「海外生活への包括的支援」であることが明らかになった。現地での生活への適応や現地でのビジネスネットワークの拡充は、卒業生の家族を含めた社会活動の基盤を形成するものであり、卒業生個人の最重要課題である。まさに「ライフサポート型」と「ビジネス型」が一体化した同窓会が求められている。同窓会による「海外生活への包括的支援」が、卒業生の当該国での社会基盤を確立し、それによって大学が海外支部に求めている「学生への直接的な支援」「大学の国際化に対する支援」の行動要因となる可能性があるのではないだろうか。RQ1で明らかになったように大学にとって海外支部の重要性は増し、卒業生にも教育や学生募集の面で活躍してもらいたいと大学は期待している。しかし、本稿では、国内の卒業生とは異なり、海外在住の卒業生は、大学や同窓会が提供する卒業生サービスを十分に受けることが難しい状況にあり、ここに大きな隔りがあることが明らかになった。卒業生と同窓会と大学が互惠関係を構築していくためには、この隔りや同窓会と大学が協力して埋めていくことが求められている。この点について、鳥居（2013）は次のように論じている。「今後、グローバル化が進む社会の中で、同窓会組織のマネジメントにかかわっては、国外へのネットワークを拡大しながら増加する同窓生集団の多様なニーズをいかにして汲み取っていくのか、どのようにサービスの質を高めかれらの満足度を向上させていくのかが一層重要な課題になっていくと推察される。」（p.142）

これらの課題は、社会全体における国際ネットワークの強化という視点から考察すると、大学と同窓会のだけの問題ではない。各国政府外国人留学生の同窓会に関する研究を行っている谷口によれば、「現地社会との絆を構築し、社会の一員としての責任感と愛着感を育むことが、将来的にその国の外交面および経済面における国益につながる」（谷口、2013、p.211）と主張している。「その国の経済発展状況やその国における同窓生の社会的地位も、

同窓会が活発になるかどうかのバロメーターとなる。(中略) また、帰国留学生が自国社会の上層部に属し、現地社会に貢献できる立場にあれば、同窓生を組織し、社会貢献活動を展開することができる。」(p.3) と中島(2011)も海外支部の意義を説いている。これらのことから、対象7大学だけで、54ヶ国・地域に同窓会の海外支部があるということは、私立大学同窓会における海外支部の活性化が、日本の大学の国際化だけでなく、当該国における国際理解の促進、海外企業との懸け橋、親日派の養成、戦略的な特定国との関係強化など多様な側面に影響を与えるといえるのではないだろうか。卒業生が日本と当該国との懸け橋になり、母校そして日本の国際的広報役として果たす役割は大きい。同窓会海外支部の考察は、日本と当該国との関係性を考えることでもあり、私立大学の卒業生が活躍する多数の国家社会の発展に寄与するものである。

これらの問題の解決に関して、谷口(2013)は、世界中の様々な同窓会のネットワークをつなぐため、在外公館による各地域の同窓会調査が必要だと主張している(p.216)。この点について本稿では、中国、アメリカ合衆国、インドネシア、ベトナム、イギリス、カナダ、オーストラリア、韓国に対象7大学の海外支部が概ね共通して設置されていることを明らかにした。この地域の海外支部が、相互に連携できるよう大学側から同窓会と協力して連携の仕組みを構築していくことが求められる。

同窓会は、画一的な規制がかからないからこそ、独自の活動を展開し、大学の戦略を組織的に支援できる存在である。同窓会の存在の重要性と課題の大きさを、日本の大学全体で認識・連携し、対策を講じることが、今後の卒業生・同窓会・大学の互惠関係を構築していく上で最も必要であると考えている。

4. おわりに

最後に本稿における課題を指摘しておきたい。第一に、私立大学の類型化に関して今回は大学の特性を軸に分類を行ったが、今後は卒業生数や会費納入率と本調査を関連付けて詳細に分析を行っていくことが必要であろう。第二に、本稿では同窓会の海外支部に焦点を合わせて、その活動や役割を明らかにしたが、今後、卒業生・同窓会・大学が互惠関係を構築していくためには、この問題に関して同窓会や海外の卒業生自身に、どのようなニーズや課題があるかについて調査する必要がある。これらの点に関しては今後の課題としたい。

【主要参考文献】

- 天野郁夫(2000)「大学の同窓会－歴史と展望」『IDE 現代の高等教育』No.419, pp.5-11.
 飯野正子(1997)「校友会活動の日米比較」『大学時報』46(253), 日本私立大学連盟, pp.58-61.
 江原昭博(2009)「アメリカにおける大学の同窓会：その成立過程と日本への示唆」『国立教育政策研究所紀要』国立教育政策研究所 138, pp.125-139.
 江原昭博(2010)「アメリカの大学における卒業生を対象とする研究：Alumni Studies の歴史的変遷」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第1分冊, pp.155-168.
 大川一毅(2011)「大学と校友の「相互支援関係」を考える「卒業生サービス」の意義と

- 課題』『東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会研究集録』61,pp.96-101.
- 岡本真希子 (2013)「東アジア地域における早稲田校友会—帝国日本の中の〈校友共同体〉—」『早稲田大学史記要』44,早稲田大学大学史資料センター,pp.71-146.
- 喜多村和之 (1990)「同窓会 (Alumni) の意義—アメリカの場合を中心に」『大学と学生』297,文部省高等教育局学生課編,pp.7-13.
- 腰越滋、池田義人 (2006)「大学における同窓会組織の今日的意義:「卒業生による大学評価アンケート調査」結果などを手がかりとして」『東京学芸大学紀要.総合教育科学系』Vol.57,pp.19-27.
- 清水畏三 (1987)「アメリカの大学校友会—その母校愛と寄附」『大学時報』36 (192),pp.46-49.
- 高田英一 (2011)「国立大学法人における全学単位での同窓会の現状について - 全学同窓会の規約を中心に -」『大学評価研究』10,大学基準協会,pp.79-87.
- 谷口吉弘 (2013)『各国政府外国人留学生奨学金等による修了生へのフォローアップ方策に関する調査研究—主要な各国政府、海外の主要大学の取り組み—』平成23年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業.
- 中央教育審議会大学分科会大学のグローバル化に関するワーキング・グループ (2014)『我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン (平成26年11月14日)』文部科学省.
- 独立行政法人日本学生支援機構 (2014)『平成25年度外国人留学生在籍状況調査結果』.
- 鳥居朋子 (2013)「同窓会活動における大学への戦略的支援—ミシガン大学同窓会の事例に注目して—」『大学論集』第44集,広島大学高等教育研究開発センター,pp.131-146.
- 中島清 (2011)「留学生同窓会の活動、その役割と方向性について」『福井大学留学生センター紀要第6号』,福井大学留学生センター,pp.1-9.
- 日本私立大学連盟 (1986)『日本私立大学連盟特定研修報告書校友行政昭和61年度』.
- 文部科学省 (2014)『平成26年版文部科学大臣所轄学校法人一覧』.
- 文部科学省 (2014)『文部科学統計要覧平成26年版』.
- 山田礼子 (2008)『アメリカの学生獲得戦略』玉川大学出版部.
- 横田雅弘、太田浩、坪井健、白土悟、工藤和宏 (2006)『岐路に立つ日本の大学: 全国四年制大学の国際化と留学交流に関する調査報告』,平成15-17年度科学研究費補助金基盤研究B)「日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向: 来るべき日本の留学交流戦略の構築」研究成果報告書,課題番号: 15330177.

【主要参考ウェブサイト】

- 慶應義塾卒業生ネットワーク URL:http://www.keio.ac.jp/ja/about_keio/alumni/
(閲覧日: 2014年11月2日).
- 慶應連合三田会 URL:<http://www.rengo-mitakai.keio.ac.jp/>
(閲覧日: 2014年11月2日).
- 拓殖大学学友会 URL:<http://takushoku-alumni.jp/> (閲覧日: 2014年11月2日).
- 中央教育審議会大学分科会大学教育の検討に関する作業部会大学グローバル化検討ワーキ

ンググループ. “東アジア地域を見据えたグローバル人材育成の考え方～質の保証を伴った大学間交流推進の重要性～” 文部科学省. 2010年6月21日.

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1295359.htm (閲覧日: 2015年1月30日).

日本学術振興会 スーパーグローバル大学創成支援事業 採択大学一覧

URL:http://www.jsps.go.jp/j-sgu/h26_kekka_saitaku.html (閲覧日: 平成26年12月14日).

明治大学校友会 URL:<http://meiji-shikon.net/> (閲覧日: 2014年11月2日).

文部科学省. “「留学生30万人計画」骨子” 2008年7月29日

<http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/rireki/2008/07/29kossi.pdf> (閲覧日: 2015年1月30日).

立命館大学校友会 URL:<http://alumni-ritsumei.jp/> (閲覧日: 2014年11月2日).

立命館アジア太平洋大学校友会 URL:<http://www.alumni.apu.ac.jp/ja/>

(閲覧日: 2014年11月2日).

早稲田大学校友会 URL:<http://www.wasedaalumni.jp/> (閲覧日: 2014年11月2日).

WASEDA University International Network

URL:<http://www.cie-waseda.jp/win/jp/> (閲覧日: 2014年11月2日).